

## 令和4年度「幼児教育推進体制の充実・活用強化事業」主な取組内容概要

自治体名：秋田県

### 【幼児教育に関する現状や幼児教育推進体制の取組の特色等】

秋田県では県及び事業実施7市に教育・保育アドバイザーを配置し、県と市が連携しながら、園種の垣根を越えた研修機会の提供、園の巡回訪問による継続支援など幼児教育推進体制の充実強化を図っている。幼児教育センター（県内3地区を拠点）に、指導主事・幼保指導員を配置し、県全域の市町村や園を支援できる体制が整っている。

課題は、県による事業実施市とアドバイザー未配置市町村に対する支援に差があること。近隣地域一体で学び合う体制やネットワーク体制を更に充実させる必要がある。

### 【令和4年度における主な取組内容】

- (1) 乳幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続の推進
- (2) 保育者の専門性向上を図る研修機会の提供
- (3) 「就学前教育推進協議会」の開催、情報発信
- (4) 市教育・保育推進体制の支援及び市教育・保育アドバイザーの育成
- (5) 県と市の連携による園の重層的支援

### 【取組内容の具体的な事例】

#### ※【令和4年度における主な取組内容】

##### <幼児教育スタートプラン理解啓発リーフレット>

国の「幼児教育スタートプラン」を踏まえ、小学校以降の生活や学習の基盤につながる幼児期の教育の重要性を図るリーフレットを作成した。各市町村教育委員会が実施する就学時健診時に、県内5歳児の保護者に配布した。また、就学前教育・保育施設、小学校、市町村福祉部局、市町村教育委員会、県社会教育施設等にも配布した。当課HPにリーフレットと説明動画を掲載したことで、内容について理解を深めていただくことにつながっている。リーフレット作成に当たり、学識経験者、行政関係者、就学前教育・保育施設関係者、小学校関係者を委員とした有識者会議を開催し、様々な立場の方々の意見をいただきながら作成することができた。

##### <多彩な市主催研修>

##### 相互職場体験（潟上市）の様子>

市内就学前教育と小学校教育との円滑な接続の在り方について、幼稚園・保育所・認定こども園等と小学校職員が相互理解を深めるとともに、各職員の資質向上を図ることを目的に実施している。行政によるこうした地域一体での研修の提供は、保育者や小学校教職員にとって実りある機会となっている。



相互職場体験。小学校職員の学校紹介に、子どもたちは釘付けです。

